



PTAだより

白根高校 令和6年10月29日発行(第100号)



第70回関東高P連 千葉大会に参加して

PTA会長 森田 公

はじめに、PTAだより100号おめでとうございます。歴代の委員の皆様のご尽力に対し深く感謝申し上げます。また、その記念号に、寄稿できることを嬉しく思います。

さて、例年になく暑さの7月23日(火)、24日(水)の2日間、県内の各高校から、学校関係者及びPTA役員の皆さんと一緒に千葉大会に出席しました。オープニングでは幕張総合高校のオーケストラ部による「一音一会」を大切にした演奏と、柏市の地域活性を目的に発足した平均年齢50歳以上の「おやじダンサーズ」によるユニークで軽快な「キレはないけどコクはある」ダンスパフォーマンスで幕を開けました。

記念講演では、テレビで活躍中の、元埼玉県警刑事、佐々木成三氏による「高校生の問題行動」と題し、SNSなどによる嘘の情報や、勘違いから問題をつくってしまうことや、常に情報は変化しており、ファクトチェックが必要であるなど、事例を交えたわかりやすい講演で、講演につきものの居眠りをすることなく、予定時間をオーバーした楽しい講演でした。

夜の懇親会では、県内の方々と意見交換を行いました。各学校、大なり小なり何らかの問題が生じており、PTA会費を希望制にする学校や、大会に参加していない学校など、PTA活動も時代と共に希薄になりつつあることを実感するとともに、今後は全国的に広まっているPTAの解散や、上部組織である連合会からの脱退などが、県内にも広まりつつあるということを危惧した会となりました。

2日目の分科会では、5つに分かれ、私は、県内の身延高校と栃木県那須拓陽高校が提案発表する、「高校教育の理解を深めるためのPTA活動」について参加し、全国的に高校の統廃合が進む中、高校単独では生徒数の減少やPTA活動の後退など活動に限りがあり、学校近隣の地域と共に歩いていくことにより、地域住民との交流、学校への親近感、学校施設を利用したイベント、学校との共同特産品製作・販売など、いろいろな経験をする事ができ、楽しい思い出となる高校生活を送るための手助けになるという事例を交えた発表となり非常に参考になりました。

また、大会に参加する中で、何より、女性役員の多さに圧倒されました。小中学校では多く見受けられますが、参加者、事例発表、次年度の関東の会長も女性であり、高校でも女性役員の活躍が見受けられ、「PTA=お父さん」の時代は過去の話である感じがしました。

本校も、今年の3年役員は、私以外全て女性役員です。近いうちに、学園祭恒例の「おやじ焼きそば」も「お母さん焼きそば」、「保護者焼きそば」に名称変更する日も近いのかなと、そんなことも感じさせてくれた非常に有意義な大会となりました。

オヤジ焼きそば最高です！

1年 河西 久子

コロナ禍が落ち着き、白根高校名物「オヤジ焼きそば」が復活していました。1年生の息子の姉の代で参加した事のあったオヤジ焼きそば。久しぶりにお手伝いに参加させていただきました。

打ち合わせから準備までPTA会長を中心に、保護者の方のパワーは素晴らしいものでした。人手が足りない中でも臨機応変に対応され、非常にスムーズに作業を進めていました。子供を思う親の行動力は計り知れないなあと痛感させられました。いざ、販売を始めると子供たちの楽しそうで嬉しそうな笑顔の数々……。暑くてしんどかったけれど、参加出来て本当に良かった～。そう思わせてくれる笑顔でした。

部活動、勉強、友達との大切な時間……。高校生活の思い出の1ページに保護者の参加するオヤジ焼きそばが刻まれてくれるといいなあ。素敵で貴重な時間をありがとうございました。



「大人も楽しい学園祭」

2年 清水 千秋

今年も参加しました、オヤジ焼きそば。今年は良い天気で学園祭日和でしたが、保護者の参加人数が少なく、去年よりフランクも焼きそばも量を増やしたとのことで、限られた時間の中で忙しかったです。でも会長さんをはじめ、経験豊富な役員さんを中心に作業効率もよく、子供たちのため！皆さんのため！と一致団結してなんとかやりきりました。参加した方、ありがとうございました、お疲れ様でした。

クラスTシャツを着て、楽しそうに踊ったり歌ったりしている子供たちを観ていると、色んな人が協力して、今回も学園祭ができて事に感謝しております。

今後も、できる限り色んな行事に参加して、子供達が楽しく学校生活を送れるように微力ながら協力していきますので、よろしくお願いします。

全国高P連茨城大会に参加して

～ 白根高校PTAは全国表彰を受けました ～

校長 伊藤 裕之

今年度の第73回全国高等学校PTA連合大会は、茨城県水戸市アダストリアみとアリーナを会場の中心として、8月22日（木）～23日（金）開催されました。今年はオンライン参加をさせていただきました。開会式のオープニングは、マーチングバンドで有名な、茨城県立大洗高等学校のマーチングバンド（ブルーホークス）による華やかで美しい演奏や合唱を聴くことができました。この大洗高校は全国大会にも常連校で、私も何度か生で視聴したことがあります。オープニングにふさわしい演奏・演技であり、大会を盛り上げていました。

開会式の中で表彰式があり、優秀なPTA活動がおこなわれた全国の学校が表彰されますが、白根高校PTAは、日頃の本校のPTA活動や生徒の健全育成と、地域の高等学校教育の振興に貢献したことが高く評価され、見事表彰されました。本当にうれしい限りです。

今回の大会テーマは「歴史の町で変革を」、サブテーマに「新たな時代が目に入らぬか」といういかにも水戸にふさわしい表現のテーマでした。ウィズコロナ、アフターコロナの時代のPTA活動を考え、今後のPTA活動のあり方を話し合ったり聞いたりすることができました。全国大会は毎年8月に開催されていますが、他県との情報交換は大変参考になります。そして、改めて本県のPTA活動がしっかりとおこなわれていることを実感することもできました。

記念講演は、二所ノ関 寛氏（第72代横綱 稀勢の里）による「人材育成の不易流行」のお話を聞くことができました。中学校卒業後に相撲界に入り、大関、横綱への道のりと修行時代の苦労話や、後輩の育成、相撲部屋でのさまざまな運営活動などについて貴重な体験談を拝聴しました。

今、全国各地において、PTA解散などの残念なニュースを聞くことがあります。PTA活動は学校や生徒を支えていただく、大変重要な組織です。本校ではPTAの役員様をはじめ多くのPTA会員の皆様にあたたかいご協力やご支援をいただいております。改めて感謝申し上げる次第です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



オヤジ焼きそば!!

2年 太田 孝彦

昨年と今年連続で参加させていただきました。昨年は雨の中参加させていただき、先生・保護者の皆様ご協力の下、要領も掴めずにあっという間に終わってしまいましたが、楽しくやらせていただいた記憶があります。今回は前年の実績から、「食数（材料）を増やした」と聞き、保護者方は皆気合いが入りました。

材料の下準備や盛り付け・販売では、お母様方を中心に細部に渡って丁寧に作業して下さり、焼きそば担当のお父様の中には、味付けにこだわったり、娘さんに「お小遣いをねだられ」失笑する方もいて、心地良い雰囲気の中で時間を過ごすことができました。

希望通りに「焼きそば」が行き渡らなかった生徒もいたようですが、お買い上げには保護者の方もご協力いただき、昨年同様、早い時間帯に『完売』でした。個人的にはもう少し販売したかった（実はもっと鉄板jyuu jyuuしたかった～）

感じもありましたが、天候・気温に左右される中、商売の難しい所ですよ～・・・《少し足りないくらいが丁度良い》、ともあれ事故もなく無事に終えた事に感謝し、「また来年の楽しみ」としておきます。ありがとうございました。



編集後記

PTAだより第100号をお読みいただきありがとうございます。たくさんの方々のご協力をいただき、PTAだより第100号を発行することができました。活動への理解を深め、人と人とのつながりを広げながら楽しんで活動してまいりました。PTA活動は楽しそう、と思っていただけたら嬉しいです。ご協力いただいた皆様には、広報委員一同心より御礼申し上げます。

企画広報委員長 3年 山下 直子